

誠信交隣 21

# 縁地連だより

No.24



【相島歴史年表完成】



【未来への道標 パネル展】



【21世紀の朝鮮通信使 日韓トツブ囲碁対局・観】

NPO法人 朝鮮通信使縁地連絡協議会

---

## 目 次

■はじめに	NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長 . . . . .	1
< 各地域の活動 >		
■朝鮮通信使と今市客館	栃木県日光市 . . . . .	2
■愛知県で朝鮮通信使にかかわる二つの話題	フレンド・アジア・ロード . . . . .	3
■オンラインフィールドワーク「朝鮮通信使と大阪」配信開始	大阪歴史博物館 . . . . .	5
■瀬戸内牛窓国際交流フェスタのご報告	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会 . . . . .	7
■近江八幡歴史浪漫デジタルアーカイブについて	滋賀県近江八幡市 . . . . .	9
■（公財）蘭島文化振興財団からのお知らせ	（公財）蘭島文化振興財団 . . . . .	10
■相島歴史の会2020年度の活動報告	相島歴史の会 . . . . .	11
■副読本「関西に残された朝鮮通信使」発刊のお知らせ	地域紙研究部会長 . . . . .	14
■21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靱	広島県福山市 . . . . .	15
■朝鮮通信使が見た大阪（大坂）	朝鮮通信使川御座船を考える会 . . . . .	17
■平和な未来を拓く二つの道標（みちしるべ）イベント	川越唐人揃いパレード実行委員会 . . . . .	19
■牛窓に残る朝鮮通信使の足跡	岡山県瀬戸内市 . . . . .	21
■朝鮮通信使ウオークのルーツは伊能忠敬	21世紀の朝鮮通信使 友情ウオークの会 . . . . .	23
■対馬市及び縁地連事務局より	対馬市、縁地連事務局 . . . . .	26
○会員名簿 . . . . .		28

## はじめに



2020年度は大変な年となりました。

新型コロナウイルス蔓延の影響により日本中、世界中で生活の自由が奪われ、産業界も多大なダメージを受け続けており、いつ終わるともしれない苦しみの中にあります。

皆様にはお体に十分お気をつけいただき、ご健康でありますよう心から願っております。

さて、2020年度は縁地連初の全国大会中止という大きな事件がありました。皆様ご存じのとおり新型コロナウイルス蔓延の影響によるものです。

これはもはや我々の手に負えない天災であり、過ぎるのを耐えて待つしかありません。

幸い2021年度にはワクチン接種が始まる予定であり、終息に向けて前に進み始めることとなります。

どこまでワクチン接種が進むか、その時の感染状況などにもよるところではありますが、2021年には対馬において全国交流会を開催予定です。

なんとか感染拡大が止められ、大会を開催し、そこで元気な皆様にお会いできることを切に願っております。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会

理事長 松原 一 征



## 朝鮮通信使いまいちぎやくかんと今市客館

江戸時代、朝鮮通信使は合計12回来日いたしました。そのなかで、日光参詣は、寛永13年（1636年）、同20年（1643年）、明暦元年（1655年）の3回行われました。

なかでも、初回の寛永13年は、3代将軍家光による東照社の大工事が完成した年であり、この年の通信使は総人数475人で、このうち217人が日光を参詣しました。

その行程は往復9日間で、12月17日に江戸を発った一行は、参詣前後の20日と21日の両日に、今市宿に新築された客館に宿泊しました。

この今市客館について、通信使の首席代表である正史の白麓ぼいらんは、日記に次のように書いています。

「今市の客館は板作りの家で、わざわざ材木を江戸から運んで新装したものである。これに要した費用は1万両といわれ、日光から10里（※朝鮮の距離単位）の地点にある。」

今市客館は、東西百間（約180m）、南北五十七間（約102m）の細長い敷地に、通信使の階級に応じて何軒かの棟が建てられ、200人以上も収容できた豪華な建物であったと考えられます。そして、その後2回の参詣の時にも、通信使一行の宿として使用されました。



今市客館跡(背景は日光杉並木街道)





## 愛知県で朝鮮通信使にかかわる二つの話題

名古屋を拠点に東海3県のメンバーで活動してきたフレンド・アジア・ロード（FAR）は各地の団体と同じく、月1回の例会を含めて2020年は活動らしい活動ができなかった。そこでメンバーがかかわった朝鮮通信使に関する二つの話題を報告したい。

### 1) 将軍から下賜された通信使揮毫の掛け軸

愛知県岡崎市の広忠寺は徳川家康が父、松平広忠のために建立した寺だ。その本堂に掲げられた「広忠寺」の扁額は長く通信使による揮毫を写したものとされてきた。ところが昨年6月、東海地方朝鮮通信使研究会の会員でもある同市内の小田章恵さんが、通信使の足跡調査の一環で、扁額の裏に刻まれた漢文を確認したところ、徳川家ゆかりの譜代大名の揮毫と判明した。

それだけなら、県内で発見されている通信使の扁額が3枚から2枚となり、「残念なこと」ですんでしまっただろうが、小田さんは同時に、扁額とは異なる



書体で「広忠寺」と墨書された掛け軸、さらに掛け軸の由来を物語る住職の覚書を確認した。そこには、正徳元年（1711年）、朝鮮通信使一行が江戸に滞在中、6代将軍徳川家宣の依頼を受けて、通訳官の海峯（本名・金時璞）が「広忠寺」と揮毫し、表装のうえ、大老の酒井雅楽頭経由で同寺に下賜されたと記されていた。

裏書きの漢文や古文書を読み解いたのは、小田さんの依頼を受けた東海地方朝鮮通信使研究会代表で前FAR理事長の貫井正之さんである。10月に同寺に赴き、現物を前に小田さんに解読結果を伝えた。

掛け軸については、「当時は酒井家から大老は出していないなど、事実と異なる記述もあるが、表装には葵紋が入っており、下賜の信ぴょう性は高い」とし、「幕府の祖である家康の父の菩提寺であり、特別な配慮があったのではないかと推察している。

だとすれば、扁額という通信使の足跡を失ったものの、真筆の形で、貴重な文化財が伝えられてきたのだ。

その扁額だが、裏書によれば、正徳期の通信使から約40年後の宝暦2年（1752年）に、当時の住職が人を介して姫路藩主の酒井忠恭に揮毫を依頼し、通

信使の扁額と掛け替えたことがわかった。やはり「通信使の扁額」はあったのだが、「朝鮮異客の筆では満足できない」などと掛け替えの理由が刻まれていた。住職の不満の背景は今後の解明を待ちたい。

外された扁額はどうなったのか。処分されたかもしれない。「いや、必ずどこかにあるはずだ」という貫井さんの指摘を受けて、小田さんはその後も同寺に通い、扁額探しを続けている。

## 2) 興正寺の朝鮮通信使絵巻、18年ぶりに公開

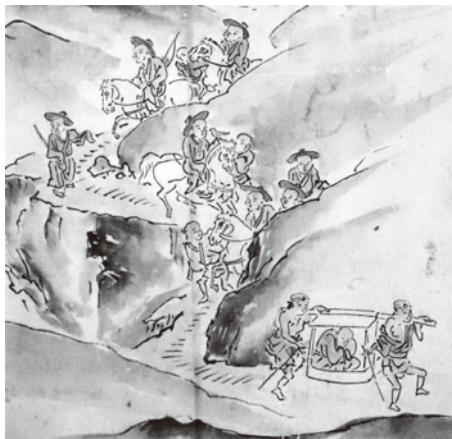
尾張徳川家とゆかりの深い名古屋市昭和区の興正寺で昨年12月、朝鮮通信使一行の行列を描いた同寺所蔵の絵巻「韓使来聘図」が18年ぶりに公開された。コロナ禍とあって、会場の竹翠亭は1時間に5人ずつの入場となったが、フレ



ンド・アジア・ロードでは、元理事長の貫井さんの解説付きの見学会を開催した。

貫井さんはこの絵巻との縁が深い。1982年、同寺の文庫を整理している際に、発見され、鑑定依頼を受けた貫井さんによって「宝暦14年（1764年）に来日した第11回の通信使が、名古屋から薩埵（さった）峠（静岡市）まで進むところを描いた絵巻」と分かった。

幅27センチ、長さ8・55メートルもあり、こしに乗った正使や馬に乗った楽隊など通信使一行約130人だけでなく、従者役や荷物を運ぶ日本人約80人までもが表情豊かに描かれている。「通信使の行列図の中でも貴重な逸品」というのが当時の貫井さんの評価だった。



2002年に公開されたことはあるが、その後は研究者も見ることではできなかつただけに、貫井さんにとっても18年ぶりの再会となった。じっくりと絵巻を眺めて、当時の評価を再確認したそうで、「尾張藩の狩野派の絵師が、一行に同道しながらスケッチしたのではないか」などと解説した。

同寺には「唐絵釈迦尊」の名で16世紀半ばに朝鮮半島で描かれた仏画も所蔵されている。縦が約2・8メートル、横が約2・7メートルもあり、なかなか展示公開の機会がない。貫井さんから「李朝仏画の最高傑作の一つ」とたびたび聞かされているFARメンバーたちは、「仏画も早く公開されるといいね」と語りながら同寺を後にした。

（報告者 FAR理事長・千田龍彦）

## オンラインフィールドワーク 「朝鮮通信使と大阪」の配信開始

大澤 研一

令和2年、新型コロナウイルスの拡大防止のため従来のスタイルによる事業・イベント実施が困難となりました。そこで駐大阪韓国文化院と大阪歴史博物館は共同で、現在文化院のHPに連載中の「朝鮮通信使と大阪」（大澤執筆）の内容をベースに、通信使が大阪にのこした足跡を巡る映像を制作し、11月末より配信を開始しました。オンラインフィールドワーク「朝鮮通信使と大阪」です。

外出に自粛が求められるなか、少しでも通信使ゆかりの地について理解を深めていただくとともに、自粛が解除されたあかつきにはぜひこの映像を参考に現地を訪れてくださることを願っての事業です。

大阪は1811年をのぞく11回、通信使が立ち寄りました。大阪は幕府の直轄都市であり、また釜山から通信使を乗せてきた外洋船にとっては終着地という、他の寄港地とは違う特徴をもつ場所でした。また活気ある都市の様子や文人たちとの交流は通信使にとりわけ強い印象をのこしました。

今回の映像ではこうした特徴やエピソードを交えつつ、実際に通信使が大阪でたどったルートや訪問地を追体験できるよう、全5編からなる構成としました。それぞれの概要は次のとおりです。

### 01 “港から町へ”

通信使は大阪に到着すると、河口部の港で外洋船から川をさかのぼる御座船に乗り換え、中之島南側の土佐堀川を経て中心部の難波橋を目指しました。第1編では木津川河口部から実際に船に乗り、通信使が見た水都の景観に想いを馳せながら難波橋へ向かいます。

### 02 “難波橋から宿所へ”

通信使は難波橋横で川御座船から下りました。難波橋の北側には対馬藩の蔵屋敷があり、反対の南へ向かうと宿所に至ります。第2編では対馬藩蔵屋敷跡を訪ねたのち、通信使が何度も宿泊した北御堂（本願寺津村別院）まで、通信使が実際にとおった堺筋と備後町を歩きます。

### 03 “宿所での滞在と交流”

大阪での通信使の宿所といえば北御堂と南御堂（真宗大谷派難波別院）です。第3編では両所を訪問し、大寺院において万全の態勢と細心の気配りにより通信使が迎えられ、大阪の人びとの間で贈答品の交換や漢詩文のやりとりが繰り広げられた様子を紹介します。



## 04 “通信使の足跡—竹林寺と係留地跡—”

通信使が乗船してきた外洋船は尻無川に係留されました。近くにある竹林寺には航海の途中で体調を崩し大阪で亡くなった金漢重の墓石が建ちます。また竹林寺境内では、通信使本隊と分かれて大阪にとどまった外洋船の船乗りたちに相撲をとることが許されました。第4編では竹林寺と知られざるゆかりの地尻無川を訪問します。

## 05 “淀川をさかのぼる”

東の間の大阪での滞在を終えた通信使は難波橋から再び川御座船に乗って淀川をさかのぼり、途中枚方での食事をへて淀に至りました。日本人も100隻を超える川船のパレードに目を見張りました。第5編では淀川の景観をところどころ紹介するとともに、通信使が枚方で休息した本陣跡や淀城、上陸地点である唐人雁木を訪ねます。

オンラインフィールドワーク「朝鮮通信使と大阪」の各編は15分程度でコンパクトにまとめられており、かつクリアな映像により現地の様子を居ながらにして体感することができるコンテンツとなっています。ぜひ多くの方に視聴いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

オンラインフィールドワーク「朝鮮通信使と大阪」は次のURLからアクセス可能です。

<http://osakakorea.com/onlinefieldwork2020>

オンラインフィールドワーク  
온라인 필드워크

駐大阪韓国文化院  
Korean Cultural Center Osaka

大阪歴史博物館  
Osaka Museum of History

# 朝鮮通信使と大阪

조선통신사와 오사카



ユネスコ「世界の記憶」登録品 朝鮮通信使御棧船図屏風(大阪歴史博物館蔵 辛基秀コレクション)より



## 2019瀬戸内牛窓国際交流フェスタのご報告

牛窓の朝鮮通信使行列は通算で27回目、私たち民間の実行委員会主催では10回目になります。

牛窓の紺浦地区が、対馬厳原日吉地区から衣装を借りて町役場から警察署まで歩いたのが始まりです。翌年、韓国政府から駐神戸総領事館を通して、行列の衣装100着を牛窓町が無償でいただきました。現在の衣装は15年ほど前に牛窓町が韓国であつらえたものです。

民間主催となり、国書交換セレモニーを江戸時代に朝鮮通信使を迎えた国の史跡本蓮寺で行っています。本蓮寺の謁見の間に座ると、今でも江戸時代の朝鮮通信使を迎えた時の雰囲気を感じることができます。

通算第3回以来、正使役はいつも駐神戸大韓民国総領事館の総領事様が務めてくださいました。近年は総領事館のご尽力により、午後のステージイベントも充実し、K-POPコンサートやフォトコンテストにより、観客の数も増えています。

7月から11月まで毎月実行委員会を開き、情報を共有。実行委員会は役割ごとに係りを決め、リーダーが中心になって準備しました。総務・行列・衣装・昼食・マルシェ・船・交通・ステージ・本蓮寺などの係です。全体的にポスター張り、協賛金集め、行列参加者集め、個人別に衣装番号・役割・配列の送付など欠かせません。

今回は日韓関係悪化の中、姉妹都市韓国ミリャン市から瀬戸内市への訪問はありませんでしたが、岡山韓国教育院のオイルファン院長のご尽力により、韓国のソウルからユハン（柳韓）工業高校の学生さんを迎えることができました。同じくオ院長のご尽力により、岡山大学や山陽学園大学の留学生、それに岡山後楽館高校、高松農業高等学校、瀬戸南高校の学生たちと、地元邑久高校からはヨット部を中心に参加。150人近い若い人たちの参加でにぎわいました。

特に毎年参加の岡山朝鮮初中級学校舞踊部の踊りながらの行進は行列を華やかにし、観客も楽しみにしています。

行列を仮装行列にはしたくないという思いで、楽隊はチャンゴやドラを叩ける人、笛を吹ける人をお願いしています。



今回から行列の道筋を、海よりに迂回し、出島で休憩と太鼓と立ち踊りのパフォーマンス。その出島では観光客のためチジミやキンパなどの韓国料理を中心に10店の屋台が並びにぎやかでした。

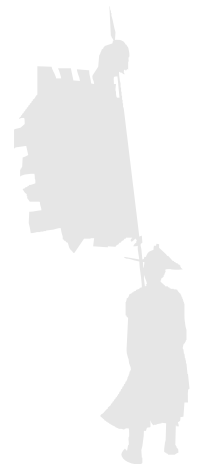
朝鮮通信使は海から訪れたことにちなみに正使・副使は出島から飾られた船に乗り、数隻の大漁旗を飾った出迎えの船とともに、瀬戸内海を少し巡り、牛窓の港に上陸しました。

私たちは「海の祭」と呼んでいますが、自分の船に大漁旗や幟、赤い布や吹き流しを飾り、ボランティアで船を走らせ、5隻が正使の船を出迎えました。瀬戸内海国立公園がひととき華やぎました。

私たちは4つのものを集めます。行列参加者と、ボランティアと、寄付と観客です。財政的には市からイベント補助金として、経費のおおむね3分の1は出ていますが、残り3分の2は寄付をお願いして回っています。なかなか大変です。しかし民間の自由な想像力と、皆様のご尽力をいただき、前の年よりいいものをお願い、頑張っています。

私たちは民間の小さな力ですが、どのような国際情勢のなかでも、善隣友好の歴史を次世代に引き継いでゆくつもりです。

(2020年度は新型コロナウイルスの感染防止のため中止しました)



## 近江八幡歴史浪漫デジタルアーカイブについて

近江八幡市では、平成29年度に公益財団法人図書館振興財団の提案型助成事業の助成金により、「近江八幡歴史浪漫デジタルアーカイブ」を作成・公開し、近江八幡市に残る貴重な歴史資料・文化遺産を紹介しています。令和元年度には、そのなかで小・中学生向け地域探検のサイト「近江八幡まち探検」を作成・公開しました。



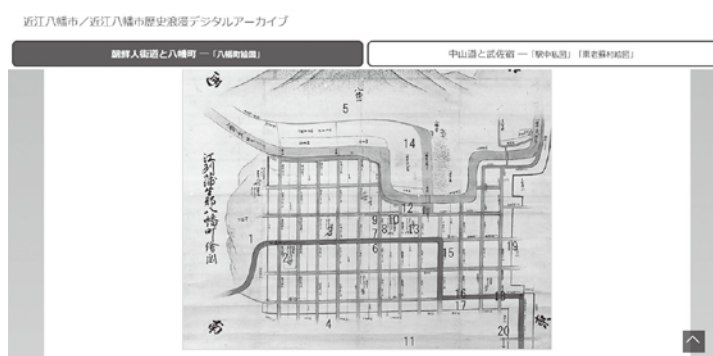
江戸時代の絵図をベースに作成した町で主要なランドマークを紹介していくサイトで、対象地域は江戸時代の宿場町のひとつ武佐宿および中山道と、多くの近江商人を輩出し、朝鮮通信使の昼食休憩先であった八幡町です。

特に八幡町のサイトは、町を横断する朝鮮人街道を、通信使一行がキャラクターとして移動し、正使・副使等の休憩先であった本願寺八幡別院からは饗応料理がポップアップします。絵図上部にある「八幡町と日朝友好の道「朝鮮人街道」」のラベルをクリックすると、朝鮮通信使と江戸時代の八幡町との関係をわかりやすい文章で記しています。

また、「近江八幡歴史浪漫デジタルアーカイブ」では、ユネスコ「世界の記憶」に登録された「朝鮮通信使に関する記録」のうち、近江八幡市に残る「八幡町絵図（近江国蒲生郡八幡町惣絵図）」と「李邦彦詩書」も掲載しています。

「八幡町絵図」から、「朝鮮人街道と八幡町」のページに移ると、朝鮮人街道と八幡町についての詳しい解説のほか、「まち探検」と同様、「八幡町絵図」上の数字をクリックするとランドマークの解説が表示されます。

八幡町の町割は、八幡山城主豊臣秀次が城下町整備後、ほぼ変わりなく継承されていることから、「まち探検」「八幡町絵図」をタブレット等でみながら街歩きもできます。

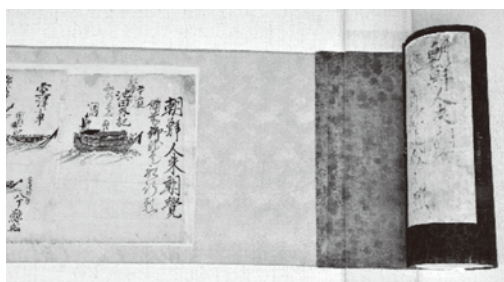




# 松 濤 園

(公財) 蘭島文化振興財団からのお知らせ

広島県呉市下蒲刈町には江戸時代を通じて朝鮮通信使が12回の使行のうち、11回立ち寄った歴史があり、江戸後期に幕府の外交記録をまとめた『通航一覽』には江戸で各地の接待の様子を尋ねられた対馬藩藩主が「天和度安芸蒲刈御馳走一番」と答えたと記録されている。下蒲刈町は呉市との合併前に町政の柱として「文化と歴史の掘り起し」を進めてきた。その中で、かつて朝鮮通信使を歓迎し「御馳走一番」と記録された歴史に着目し、朝鮮通信使資料館「御馳走一番館」が平成6年に誕生した。令和2年度で26年目を迎え、朝鮮通信使を迎えた町として地域振興、青少年育成に力を入れてきた。平成15年より毎年恒例行事として「朝鮮通信使再現行列」を開催し、地元住民が中心となって地域の団体や企業、駐広島大韓民国総領事館と在日本大韓国民団広島県地方本部の協力のもと開催している。今では下蒲刈島で一番大きなイベントとなり、地域住民にとっても大切なイベントとなっている。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止せざるを得なかった。朝鮮通信使再現行列は中止となったが、朝鮮通信使資料館で展示公開事業は継続して行った。また、地域の小学生が朝鮮通信使について学習し発表する場としても活用されている。「子供学芸員」として朝鮮通信使の歴史について学習し、保護者や地域住民へ向けて発表をしている。令和元年度に「子供学芸員」を実施していた下蒲刈小学校は蒲刈小学校へと統合されたが、「子供学芸員」は蒲刈小学校と協力して今後も続けて行く予定である。



## 令和3年度の松濤園の展示公開事業

### 所蔵品展

- I) 4/7(水)～6/28(月) 「文人交流と朝鮮通信使」
- II) 6/30(水)～9/6(月) 「誠信外交ー通信使と国際交流」
- III) 9/8(水)～11/23(火・祝) 「海上パレード！朝鮮通信使と海」
- IV) 11/25(木)～1/24(月) 「むかえる！もてなす！通信使と日本文化」
- V) 1/26(水)～4/11(月) 「柳川一件と馬上才」

※展示期間などは新型コロナウイルスの状況により変わる可能性があります。



## 「相島歴史の会・2020年度の活動報告」

2020年度の活動報告・・・（相島海岸ゴミ拾いと歴史調査・研究継続）

昨年4月に「相島フェスタ」で第6回目歴史講演会（セミナー）を予定していましたが、コロナで中止。また秋の西南学院大学院大ホールでの第3回朝鮮通信使シンポジウム（ユネスコ世界の記憶登録3周年記念）も残念ながら中止としました。

6月よりコロナ対策がやや緩やかになったことで、総会を実施。その後の例会（偶数月）は再開。AMは海岸の漂着物（プラスチック主）を回収（10月で計13回目）、PMが例会（歴史勉強他）を実施しています。



9月初旬の9、10号の台風は相島にも甚大な被害（浮き消波堤沈没、日蒙供養塔破損・説明板倒壊、港界隈の小屋破損、屋根瓦破損、百合越浜漂着物他）をもたらしました。

現在、日蒙供養塔破損（神宮寺所有）や百合越浜漂着物回収は全く手付かずですが、後はほぼ復旧されました。

今年度は8月に初代会長の花田和博氏、11月に61名溺死の供養塔を示唆された篠崎和則氏が相次ぎ亡くなられたことは痛恨の極みとなりました。2人にはどれだけお世話になったかは、筆で尽くせません。2人が提起された多くの謎解明に今後頑張って恩を返せればと思っています。6月、12月と、歴史に関心ある新会員4名を迎え、今後の活動に弾みがつくのではと期待しています。今年の1月で丸10年を終え11年目に入りました。以下、今年度の活動を写真と併せ、報告します。

### (1) 2020年度活動報告

#### 1. むなかた古道プロジェクト依頼のイベント二つ

6月14日 講演会 景轍玄蘇・規伯玄方の所縁の承福寺（宗像市玄海町上八）、末裔参加でコロナ対策をして開催 20名（限定）

11月8日 相島現地通信使史跡案内 コロナ対策で人数限定実施15名

#### 2. 相島歴史年表（5刷）・・・500部印刷 10月10日に完成、“島民に歴史認識を！”で20頁以上増やし、相島の全所帯（138戸）や関係先に

配布した。作成費用は当会の後援会（応援する会）の支援があればこそ印刷化が実現できたことに心より感謝したい。後述の新聞掲載により東京（2ヶ所）はじめ多くの方から購入希望が多く、12月中旬には当初の500部がゼロとなり予想外だった。

#### 今後の調査・研究課題

##### ①通信使関連

山の上、「有待亭」跡地を島の古老はなぜ通信使を饗応したというのか。61名溺死関連で未調査の25基の墓の調査、この関連事故の古文書の悉皆調査。

##### ②積石塚群と阿（安）曇族との関係

##### ③高妻神社の巨石配列の状況考察と巨石の線刻について

##### ④宗像・福津・古賀周辺古墳の石室の石材、相島産の玄武岩使用の理由について

\*年表の完成紹介を西日本新聞11月14日に掲載(写真添付)、見出し「相島の史実年表作り継承」、朝日新聞に11月28日「島の1700年 謎ときしませんか」で掲載されました。



#### 3. 神社仏閣リポーター主催イベントに協賛

11月7日 神宮寺 中澤住職の講和、通信使の61名溺死秘話、その後に300回忌での筑前琵琶を再演奏、その後主催者の三線で終えた。30名制限での開催でしたが島の人数見え盛況であった。

## (2) 第4回日韓市民100人会議の発表報告

今度で2回目の会議に参加した。本来なら静岡市での開催がコロナ禍につきオンラインで開催された。個人的にはZOOMでの発表で貴重な経験をした。

今回は前回同様 4つの分科会に分かれ、私は分科会セッション4「社会文化協力：草の根交流、労働市場、文化交流など」で次のテーマで「朝鮮通信使・ユネスコ登録後の現状と課題」～相島歴史の会・10年のあゆみ、日韓交流を中心に～で発表しました。

発表のポイントは、相島歴史の会の活動報告とユネスコ登録後の現状と、今後の課題・目標についての順、最後にユネスコ登録後、早3年経過4年目に入り、今何をなすべきかを考えようと提言した。登録はゴールでなくスタートでと考えているが、福岡県や新宮町は登録時に垂れ幕や関連写真の展示などの祝賀イベントはあったが、それ以降は聞かない。これで終わりというのだろうか？！

福岡の課題・・・通信使を多くの人に知ってもらうには!?

“福岡市博物館に「朝鮮通信使」展示の復活が早道である”

2013年11月リニューアル時に、朝鮮通信使を応接した相島は「新宮町」であり、福岡市の行政区域外との理由で通信使展示コーナーが廃止された経緯がある。従い、『常設展示公式ガイドブック』の55頁、「江戸時代の対外交渉と福岡藩」の朝鮮通信使（藍島での接待）は除外された。当時の福岡藩の三大任務の通信使の歴史事実が小・中学生の見学時に学習する機会が無くなった。スペースが真の理由であれば、特例でガイドブックに掲載する方法もあったのでは!

釜山市と福岡市は姉妹友好都市につき、まず展示を復活すべきと思う。

日韓関係（福岡・釜山）を地方から好転させるために、福岡市の英断を促したい!

2021年度の計画 “通信使を多くの方に知ってもらうために”

相島歴史の会

- a. 歴史年表の活用推進 (相島島民・新宮町)
- b. 4月相島フェスタ、第6回歴史セミナー開催→2次非常事態宣言発令で困難な見込み「朝鮮通信使 とっておきの話 パート II」
- c. 今年秋、西南学院大学院での第4回朝鮮通信使シンポジウムの開催
- d. 2022年5月? 第8次朝鮮通信使友情ウォーク ソウルー東京が予定されている。その折、初めて相島に立ち寄る計画あり、その準備開始。
- e. 海岸漂着物回収の継続

### (3)「朝鮮通信使と福岡」展

昨年末に九州歴史資料館で「朝鮮通信使と福岡」12月12日～2月14日まで開催との明るいニュースが飛び込んできた。

以前、福岡県立図書館にあった古文書の修復記念で今回企画展示されたとは聞かすが、ユネスコ登録3周年との文言もなく、展示品の解説パンフレットくらいは作成配布すべきだろう。申し込んでいたギャラリートーク、講演会もコロナ禍、第2次非常事態宣言で中止になった。残念の極みである。でも福岡市博物館から通信使行列絵巻を借り、また小笠原文庫からユネスコ登録文書6点、また相島から出土した磁器の欠片などの展示、他の行政に刺激を与えたイベントには間違いないと、感謝している。次の登録5周年を九州歴史資料館または九州国立博物館でシンポジウム含めた「朝鮮通信使展」開催を望みたい。



## 副読本「関西に残された朝鮮通信使」発刊のお知らせ

京都国際中・高等学校（旧京都韓国学校）から社会科授業の副読本として『関西に残された朝鮮通信使』が発刊された。この本は同行の朴校長が企画し、同行の社会科の教諭の先生たちが執筆したもので248ページ。A4版・オールカラーの読みやすい冊子である。特に際立つのは執筆に参加した先生たちが、通信使が宿泊したり訪れた沿道の遺跡を実際にたずねてその遺跡の現状を報告しているとのことである。

内容については仲尾宏が監修し、また「雨森芳洲の歴史への考え方」という一章とあとがきを担当して執筆した。大変わかりやすい筆致で統一され、また大切な事項はほとんど網羅されているので、入門書として手ごろな書物である。2020年にはこの冊子の刊行を記念して呉泰奎大阪総領事も出席したシンポジウムが京都市内で開催された。在庫のあるかぎり、一般読者にも入手可能。

(問い合わせは TEL075-525-3535

FAX075-525-3563 金一恵先生まで)

仲尾 宏『京都の渡来文化と朝鮮通信使』阿吽社より刊行。本書は1990年に淡交社より刊行した『京都の渡来文化』を大幅に改定し、とくに朝鮮通信使の章を加えて刊行したものである。旧著が入手できなくなったので、新たな史実発見や視点の強調したい箇所を加えて増補したものである。





## 21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・鞆

福山市では、2010年度（平成22年度）より「21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・鞆」を開催しています。この行事は、かつて朝鮮国から一級の文化人が通信使として派遣されたことになぞらえ、朝鮮通信使ゆかりの鞆において、日韓共通の文化である囲碁を通じて国際交流を深めるとともに、本市の魅力を広く情報発信するため、韓国から囲碁のトップ棋士を21世紀の通信使として招き、日韓トップ棋士による対局をはじめとした交流事業を行うものです。

2020年度（令和2年度）は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、10月24日（土）、25日（日）に開催しました。

今年の課題はやはりコロナ禍での開催ということで、3密を避けた工夫のほか、特に入国制限による韓国棋士の招聘が困難であることでした。



韓国棋士出迎え

そこで、今回は日本在住の韓国人棋士 柳 時熏九段をお招きすることで、10年続いてきたこの行事を中止することなく無事に開催することができました。

この行事の開幕を飾る「韓国棋士出迎え」は、江戸時代の風情溢れる鞆の浦の常夜燈前で行いました。「正」や「清道」の旗などで装飾された通信使船（再現）が鞆港へ入り、駐広島大韓民国総領事館 趙 基正領事と柳 時熏九段が現代の通信使として、常夜燈前へ上陸しました。ここで歓迎セレモニーを行い、正使役として出席いただいた趙領事が、駐広島大韓民国総領事館 金 宣杓総領事から預かってこられた国書を披露していただいたことで、「善隣友好」ムードの中、素晴らしいスタートを切ることができました。

また、在日本大韓国民団広島県地方本部の方々に伝統芸能「サムルノリ」を披露していただき、演奏と踊りを先頭に、鞆公民館ま



日韓トップ棋士による囲碁対局

で行進していただきました。迫力のある太鼓の響きや軽やかな舞で、行事に華を添えていただきました。

その後、日韓両棋士は、通信使遺跡（国史跡）として名高い福禅寺対潮楼（鞆町）にて対局を行いました。白熱した対局の末、中野 寛也九段の勝利となりました。かつて通信使は、対潮楼からの眺めを「日東第一形勝」と称賛しました。今も往時と変わらないその絶景や歴史的な空間を舞台に、トップ棋士による対局も当時さながらの親密な日韓の文化交流となりました。

対局の様子については、対潮楼での序盤見学や中継映像での大盤解説会に加え、初の試みとしてYouTubeでの生配信を行うことで、一般の方々にも御覧いただきました。当時の日韓交流に思いを馳せながら、趣深い対局を味わっていただけたと思います。

大盤解説会では、対局の中継映像に加え、解説として石田 篤司九段、聞き手として金 賢貞四段が参加しました。石田九段と金四段による定評のある掛け合いで、見学者の方々には十分お楽しみいただけたと感じております。

また、YouTubeでの配信をとおして、この行事を少しでも多くの方々に知っていただき、本事業の魅力をお伝えすることができました。

2日目は、ふくやま美術館前広場（西町）にて、一般参加者が日韓のプロ棋士と直接対局を行うことができる「五十面打ち」を行いました。例年の「百面打ち」ではなく、参加者を半数に制限しての開催となりましたが、プロ棋士との直接対局という経験は貴重であり、参加者の



五十面打ち

の方々には大変満足いただくことができたと思います。

2日間を通して規模縮小のうえでの開催となりましたが、例年さながらの盛り上がりとなりました。次回においても、地域の歴史的な魅力を活用しながら、心の通じる日韓の文化交流となるように努めたいと考えております。

## 朝鮮通信使が見た大阪(大坂)

### ○通信使と川御座船

朝鮮通信使の船旅は過酷でした。潮流が速く、有数の難所の玄界灘では、常に難破の危機にさらされ、穏やかな瀬戸内でも海路である限り、当時の航海技術では心もとないものでした。

一方、京都から江戸に至る陸路も輿や馬で移動できる正使等はまだしも、下々の者には険しい峠道や悪天候での行程は苦勞の多いものでした。

しかし、海路でも陸路でもない、安全かつ快適な唯一の例外がありました。大阪(大坂)、京都間を流れる淀川の旅です。殊に正使などは「川御座船」という金で縁取りされた超豪華な2階建の川船に乗り、ゆったりと風光明媚な兩岸の景色を愛でながら旅を楽しめたのです。

朝鮮通信使船(外洋船)にて、釜山から大阪湾の木津川河口に至った一行は、難波島にて川御座船に乗り換え、土佐堀川にて総勢150隻にもものぼる華麗な「水上パレード」を行いました。全国各藩の蔵屋敷が立ち並ぶ「水の都大阪」の街を見た通信使一行はその繁栄ぶりと兩岸に詰めかけた見物人の多さに驚いたようです。

難波橋南詰の上流に設けられた特設棧橋から上陸した一行は、堺筋を南下。宿舎である北御堂(西本願寺津村別院)を目指しました。平伏して迎えねばならない大名行列と異なり、朝鮮通信使は普通に見物できるとあって、人懐こく物見高い大阪の町衆は十重二十重になって詰めかけました。

### ○大阪における活動状況

以上のように朝鮮通信使一行に強烈な印象を残したと思われる大阪ですが、通信使が訪れた全国の多くの町では、その様子を伝える史跡が数多く現存し、多くの自治体や市民団体が活発な活動をされているのに対し、空襲で街が壊滅した大阪には、殆ど痕跡が残されておらず、博物館での展示を除けば、これまで大阪での朝鮮通信使の存在は非常に影の薄いものでした。

しかし、ユネスコ世界記憶遺産(世界の記憶)登録を契機に、大阪での宿舎となった北御堂にて2019年に「北御堂ミュージアム」がオープンし、朝鮮通信使の事績を伝える常設コーナーが設けられました。他にも大阪歴史博物館と駐大阪韓国文化院によるオンラインフィールドワークの開設など、少しずつ大阪での通信使の様子を知らせる取組がなされてきています。



このような中「朝鮮通信使川御座船を考える会」でも実際に当時、通信使の一行が何を見聞きし、どのように大阪の民衆と交流したのか市民の目線で検証するため、NHKの取材協力のもと、2018年の「唐人滯探訪ウォーク」に引き続き、2019年にかけてはその後の行程をたどる「朝鮮通信使クルーズ&ウォーク事業」や現存する川御座船の見学会などを開催してきました。

コロナ禍にて十分な活動ができなかった2020年を経て、2021年に入ってから、大阪における朝鮮通信使船（渡海船）の係留場所の特定など朝鮮通信使の最新の研究成果について、大澤研一大阪歴史博物館館長（当会顧問）にご講演いただき、併せて街歩きイベントを開催しました。さらに街歩き団体と共催で、江戸時代の沿道の名所の絵図をもとに、大阪での朝鮮通信使の足跡を辿る企画も行っています。

#### ○朝鮮通信使船の来阪に向けて

2018年に韓国木浦で復元され、本会も進水式に立ち合わせていただいた朝鮮通信使船（外洋船）は、日韓交流促進のため、当初、昨年予定されていた東京オリンピックの際、朝鮮通信使の航路にちなみ、釜山から大阪まで渡航する計画であったと伺っています。

コロナや政治状況に阻まれてきましたが、当会では改めて是非大阪へ訪問いただければと考えています。そしてその際は、大阪から淀川を遡上し、京都に至る現代版川御座船の船旅も楽しんでいただけるよう、さらに大阪における朝鮮通信使の存在感を高めるよう努力して行きたいと考えています。



現存する川御座船上部の船屋形（相楽園）



大阪で病没した金漢重の墓（竹林寺）

（朝鮮通信使川御座船を考える会 代表 藤井 薫）



## 平和な未来を拓く二つの道標(みちしるべ)イベント

### 第一の道標イベント in 浦和

2020年11月15日、第16回唐人揃いパレードが行われる予定でしたが、江戸時代から300年以上も続く10月の「川越祭り」も中止となり、パレードも断念せざるを得ませんでした。

しかし、コロナに負けず、パレードに替わるものが何かできないかと考えた結果、「未来への道標(みちしるべ)」と名付けた朝鮮通信使のイベントを行うことにしました。

まずは、10/20～25、さいたま市の浦和コミセンで朝鮮通信使パネル展を開催しました。

「友情ウオークの会」と「高麗博物館」に呼びかけ「川越唐人揃い」の三者共催となりました。

展示は、川越のパレードの写真や県内の通信使の奉納絵馬の実物大写真、ソウルー東京を歩いた日韓友情ウオークの写真、高麗博物館の通信使パネル27枚などで、韓国大使館の黄参事官も来られ興味深く見学されていました。



パネル展と並行して、浦和駅前の市民広場でパフォーマンスをしようということになり、24日「多文化の集い」として、いつもパレードに参加している5団体に歌と舞踊を行ってもらいました。秋晴れの下、道行く人たちも足を止めて見入っていました。

展示の最終日には、『李藝』の上映会と、『唐人さんがやって来る』の著者・植松三十里さんの講演会を実施。なぜ朝鮮通信使を書こうかと思ったのかなど、70名ほどの参加者は興味深い話しに聞き入りました。

三者のコラボで、パネル展、パフォーマンス、上映会、講演会と多彩なイベントができたことは大きな意義があったと思います。



## 第二の道標イベント in 川越

パレードを予定していた11/15に「川越唐人揃い」展を蓮馨寺の講堂前で行いました。蓮馨寺はいつもパレードの開会式や閉会式を行う場所で、今年も晴天に恵まれ、「唐人揃いの日は雨が降らない」という伝説？が証明されました。



会場では、過去15回のパレードをポスターや写真でとり、高麗博物館の通信使パネルも一部展示しました。また、川越氷川神社に奉納された「朝鮮通信使大絵馬」と小松神社（羽生市）の「朝鮮通信使行列絵馬」の実物大の写真パネルも展示され、みなさんその大きさにびっくりしていました。

そして、参加団体やボランティアによる「多文化共生・国際交流」への思いを語るリレートークを行いました。「普段のパレードでは、自分たちのパフォーマンスに専念していて他の団体のことはわからなかったけれど、やっと理解できました」という声が聞こえました。このような関係者の交流ができたのも嬉しいことでした。



また、通信使や女官の衣装の試着コーナーも設け、たまたま寺の見学に来た若い女性たちが喜んで着ていました。

コロナでパレードは出来ませんでした。朝鮮通信使を広く知ってもらおうのにこういうイベントも悪くはないなと実感した秋でした。



**\* 第17回 川越唐人揃いパレード 2021年11月14日(日)開催予定**



## 牛窓に残る朝鮮通信使の足跡

瀬戸内市は岡山県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られたまちです。また、備前長船の刀剣や古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家「竹久夢二」の生家等の豊かな文化資源があるまちでもあります。

その中でも、市南西部に位置する牛窓地域は「美しい窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄えました。



特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、通信使が宿泊したことのある本蓮寺や御茶屋跡など、当時の歴史的文化遺産も数多く残されています。

そうした歴史のある牛窓地域にて、令和元年度、市民主催の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」が11月3日に開催されました。

当日は朝鮮通信使行列が再現され、楽器演奏や舞踊を披露しながら本蓮寺までの約2キロを、日韓両国の約200人が華やかな衣装で練り歩きました。本蓮寺で



は正使役の朴起準駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也瀬戸内市長が「国書」の交換儀式を行い、両国の善隣友好を祈念しました。また、午後からは市内小学生や市民団体などが韓国の伝統芸能を披露するステージイベントもあり、両国の友好交流を



深める一日となりました。

残念ながら、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、本イベントは開催中止となりましたが、今後はオンラインでの交流など、コロナ禍においても実施できる事業を検討するなどして、より一層友好的な関係を築いていきたいと考えています。





## 朝鮮通信使ウオークのルーツは伊能忠敬

「21世紀の朝鮮通信使」第8次ウオーク（ソウルー東京・2000キロ）は新型コロナの拡大で20年4月出発を1年延期して21年4月に変更した。出発の直前に東日本大震災が発生、日本国内のウオークを断念して韓国内（ソウルー釜山）だけを歩いた第3次（2011年）に次ぐ「非常事態」である。コロナ禍で準備もままならない日が続く中、縁地連だよりの原稿募集が届いた。閑話休題の類であるが、よく質問される朝鮮通信使ウオークが始まった経緯について記したい。

朝鮮通信使ウオークのルーツは伊能忠敬である、というと首を傾げる人がほとんどだ。通信使は江戸時代の日本に計12回来日した朝鮮からの使節団。一方、伊能忠敬は同時代に日本列島の外周地図（大日本沿海輿地全図）を歩測で完成させ、「4千万歩の男」（井上ひさし著）でも知られる近代日本地図の生みの親。ともに江戸幕府の象徴的な国家プロジェクトとして残る史実である。その二つの史実がウオークを通じてつながったのが「友情ウオーク」といえばお分かりいただけるだろうか。

忠敬の測量スタートから200年後、朝日新聞社が創刊120周年を記念して日本ウオーキング協会と共催し、測量の跡をたどる日本列島一周のイベントを実施した（私はこのプロジェクトに関わったことがきっかけで今日に至る）。伊能ウオークと命名、1999年1月から2001年1月まで丸2年の歳月をかけて歩いた距離が11,030km、かかわった自治体766市町村（到着、ゴール等で）。各地のデリー隊を含めて17万人が参加した、世紀をまたいでのいまに語り継がれる破天荒なイベントである。全コースに挑む、応募の本体員16人の中にただ1人、外国からの参加者がいた。韓国の金哲秀さん、55歳（当時）。

ソウル大を出て文化政策研究所の幹部だった哲秀さんは人柄もよく、全国各地にファンができて、“追っかけ隊”が生まれた。伊能ウオークの合間の休みを利用

して中山道（560km）を1人で歩き、それがきっかけで発足した「中山道ウオーク」はその後10年間続いた。2005年、「お返しに今度は韓国を歩こう」と7人の元隊員らが韓国一周ウオーク（61日間、1,550km）を敢行。「7人のサムライ」と韓国内で評判になった。この時、サポートしてくれたのが哲秀さんと、韓国体育振興会の宣相圭会長。体育振興会は朝鮮通信使ウオークを主催する韓国側パートナーである。

2007年が最初の朝鮮通信使から400年、ということを知ったのも韓国一周の途上だった。「日本一周、韓国一周も歩いた。次はソウルー東京の朝鮮通信使の道を日韓のメンバーで歩こう」。目がそちらに向いたのは自然の成り行きであった。この年、日韓46地域で記念行事が開催された中、唯一のウォーキングイベント。4月1日ソウルを出発して5月16日に東京の皇居・桜田門にゴール、46日間の旅を完結した。全コース踏破の日本退院20人中、11人が伊能ウオークの経験者だったことはふたつのイベントの連続性を物語っている。

では、江戸時代の伊能忠敬と朝鮮通信使には接点があったのだろうか。1745年生まれの忠敬は寛政12年4月（1800年）、55歳の時に弟子たちと深川の自宅から測量の旅に出発。文化13年（1816年）第10次測量を終えた翌年、73歳で死去した。通信使との接点があるとすれば、明和元年（1764年）に来日した第11次か、最後となった第12次（文化8年＝1811年）にしばらく。11次は忠敬まだ19歳、千葉の佐原村にいた時期。対馬で終わった第12次通信使だけが測量中の忠敬と出くわす可能性があったことになる。

しかし、両者が出会うことはなかった。「伊能測量隊まかり通る」（渡辺一郎著）によると、対馬藩から文化7年8月、「来春、朝鮮通信使の聘礼が対馬で行われるため繁忙であり、文化7年末から8年秋までの間は（対馬の測量を）避けてほしい」との要望が幕府に出されたという。忠敬の対馬測量は通信使から送れること2年、文化10年（1813年）4月～5月に53日間かけて行われ、リアス式海岸をことごとく測量した克明な地図を残した。両者に設定はなかったが、

3か月も対馬に滞在した「最後の通信使」は市民との交流等様々なエピソードを残しており、忠敬の耳にも当然伝わったであろう。

伊能ウオーク終了後「ニッポン列島を歩き続けた感動の記録」とうたった報告書がまとめられた（講談社刊行）。16人の本部隊員がそれぞれの感想を記しているが、金哲秀さんはこう綴っている。「21世紀はデジタル時代。知識や情報の洪水の中で生きるためには『心の地図』が必須だ。年齢も職業も経歴も違う人たちが出会って、仲良く協力するモデルを私は伊能ウオークに見た。このプロジェクトは新しい世紀に向けて根本的な問いかけをしていたと思う」。伊能ウオークの延長上にスタートした朝鮮通信使ウオークも「心の地図」を求めて回を重ねていると言って良い。



## 対馬市及び縁地連事務局より

2020年度は、5月に予定されていた朝鮮通信使ゆかりのまち交流会釜山大会（朝鮮通信使祝祭）、8月の対馬厳原港まつりという2つの朝鮮通信使関連の大イベントが新型コロナウイルスの影響により中止となりました。併せて対馬來航を予定していた朝鮮通信使船復元船の来航についても中止されることとなりました。

現在様々なことが新型コロナウイルス蔓延の影響により中止などを余儀なくされておりますが、そんな中対馬市ではこの状況が終息し、自由に往来が可能になる時に向けて、2つの大きな朝鮮通信使関連事業を進めております。

1つめが2021年の朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会の開催です。

10月30日(土)、31日(日)において開催を予定しており、対馬市厳原町市街地を会場として以下のような内容を予定しております。

- 朝鮮通信使行列再現
- 日、韓の舞台演芸
- オープン前の対馬博物館及び朝鮮通信使歴史館観覧などを主としたフィールドワーク
- 対馬市民劇団による演劇

5月頃には皆様にご案内を差し上げる予定です。

新型コロナウイルスの影響により内容の変更や中止・延期等の可能性もございますが、そうした状況となった際には改めてご連絡いたします。

2つめが「朝鮮通信使歴史館」の整備です。

この歴史館は2021年4月開館予定の「対馬博物館」分館として整備を進めており、対馬博物館に先駆けて2020年夏～秋にかけての開館を目指しております。

この歴史館では、朝鮮通信使に関する歴史、



【対馬朝鮮通信使歴史館】



対馬と朝鮮通信使の関わり、長浜市で生を受け対馬で活躍した偉人雨森芳洲先生などについて解説するとともに、朝鮮通信使に関する対馬市における朝鮮通信使行列再現、朝鮮通信使縁地連絡協議会の活動をはじめとした朝鮮通信使の顕彰、普及活動を紹介します。

2020年度は縁地連としては初の全国大会中止等活動がままならない状況があり、皆様にも大変ご迷惑をおかけいたしました。

2021年度も現在の状況を考えると、まだまだ状況の改善には時間がかかるであろうと考えられます。

皆様どうか、ご自身とご家族のお体には十分お気をつけいただいて、この難局を無事に乗り切りましょう。

最後に、縁地連だより原稿を寄稿下さった皆様に心よりお礼申し上げます。「今年は活動がままならない状況があったため、原稿もほとんどなく事務局で色々と起稿しなければ」と悩んでおりましたが、皆様からの寄稿のおかげをもちまして様々な情報に富んだ機関紙を制作できました。本当にありがとうございました。

#### 【お知らせ】

現在韓国において、財団法人釜山文化財団が中心となり、韓国版縁地連団体を結成するべく準備を進めておられます。

まだ正式に結成することが決定したわけではありませんが、4月1日には関係者によるワークショップを開催し、結成に向けた機運の醸成を促す活動を行います。

結成されれば、縁地連にとってはまさにカウンターパートとなる団体となり、協力体制を築いてゆくこととなります。情報が更新され次第また皆様にはお伝えいたします。



## NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(2021年3月現在)

(自治体・団体)

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	日光市 教育委員会	文化財課	栃木県日光市今市本町1番地
2	自治体	静岡市役所	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
3	自治体	大垣市	経済部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
4	自治体	長浜市	歴史遺産課	滋賀県長浜市八幡東町632番地
5	自治体	近江八幡市役所	文化観光課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
6	自治体	彦根市役所	シティプロモーション推進課	滋賀県彦根市元町4-2
7	自治体	京都市役所	国際化推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
8	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
9	自治体	瀬戸内市役所	秘書広報課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
10	自治体	福山市	文化振興課	広島県福山市東桜町3-5
11	自治体	呉市 文化スポーツ部	文化振興課	広島県呉市中央4-1-6
12	自治体	上関町 教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
13	自治体	下関市役所	文化振興課	山口県下関市南部町1-1
14	自治体	彦岐市 教育委員会	文化財課	長崎県彦岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
15	自治体	名古屋市 教育委員会	文化財保護室	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
16	自治体	たつの市 教育委員会	社会教育課	兵庫県たつの市龍野町富永1005-1
17	自治体	東京都台東区	都市交流課	東京都台東区東上野4-5-6
18	自治体	対馬市	文化交流課	長崎県対馬市厳原町国分1441
19	団体	青丘人権文化の会	八木 勝子	大阪府門真市南野口町23-3
20	団体	公益財団法人 高麗美術館		京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
21	団体	かみのせき郷土史学習にんじゃ隊	井上 敬二	山口県熊毛郡上関町長島583-7
22	団体	津市分部町唐人踊保存会		三重県津市東丸之内19-3
23	団体	唐子踊保存会	会長 柴田 秀洋	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4952-6
24	団体	芳洲会	会長 北村 又郎	滋賀県長浜市高月町雨森1701
25	団体	朝鮮通信使行列振興会	会長 神宮 保夫	長崎県対馬市厳原町国分1441
26	団体	朝鮮通信使対馬顕彰事業会	会長 佐々木達也	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
27	団体	「静岡に文化の風を」の会	代表 佐藤 俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
28	団体	東京対馬会	幹事長 修行 秀樹	東京都千代田区麹町1-5-4-110
29	団体	日韓交流・新宮チエビの会	堀田 広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
30	団体	日本コリア協会・大阪		大阪府大阪市北区錦町2-2
31	団体	日本コリア協会・福岡	堀田 広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
32	団体	(一社)対馬観光物産協会	会長 江口 栄	長崎県対馬市厳原町国分1441
33	団体	(公財)蘭島文化振興財団	理事長 海生 泰定	広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
34	団体	NPO辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール	姜 鶴子	東京都港区元麻布2-3-34
35	団体	かみのせき史談会	松村 宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
36	団体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
37	団体	対州海運株式会社	社長 松原 基樹	長崎県対馬市厳原町久田道1661
38	団体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	会長 遠藤 靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4
39	団体	株式会社 コミュニティメディア	社長 米田 利己	長崎市出島町1番1号
40	団体	在日本大韓国民団京都府地方本部	団長 金 政 弘	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
41	団体	川越唐人揃いパレード実行委員会	会長 江藤 善章	埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
42	団体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣 相 圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
43	団体	NPO縁地連 朝鮮通信使関係地域史研究部会	会長 仲尾 宏	山口県熊毛郡上関町室津549-7
44	団体	相島歴史の会	事務局 今村 公亮	福岡県春日市千歳町3-30-51
45	団体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田 民雄	広島市中区小網町2-1
46	団体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呂 健 二	東京都港区南麻布1-7-32

## NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
47	団体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾 俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F
48	団体	静岡商工会議所	会頭 酒井 公夫	静岡県静岡市葵区黒金町20-8
49	団体	NPO法人 AYUドリーム	理事長 雨宮 令子	静岡県静岡市清水区興津中町60-2
50	団体	在日本大韓国民団山口県地方本部	団長 姜 昌 憲	山口県下関市東大和町2-13-10
51	団体	在日本大韓国民団福岡県地方本部	団長 李 相 鎬	福岡県福岡市博多区博多駅前1-18-17
52	団体	NPO法人フレンド・アジア・ロード	理事長 千田 龍彦	愛知県名古屋千種区御影町1-11-10 ライオンズM513
53	団体	一般社団法人新宮町おもてなし協会	長崎 武利	福岡県糟屋郡新宮町下府2-6-8
54	団体	東京日韓親善協会連合会	会長 保坂 三蔵	東京都台東区池之端2-5-36
55	団体	在日本大韓国民団大阪府地方本部	団長 呉 龍 浩	大阪府大阪市北区中崎2-4-2
56	団体	在日本大韓国民団東京地方本部	団長 金 秀 吉	東京都港区南麻布1-7-32-5F
57	団体	在日本大韓国民団愛知県地方本部	団長 朴 茂 安	愛知県名古屋市中村区亀島1-6-2
58	団体	在日本大韓国民団神奈川県地方本部	団長 金 利 中	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
59	団体	神奈川県日韓親善協会連合会	会長 斎藤 文夫	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
60	団体	在日本大韓国民団埼玉県地方本部	団長 田 嶋 玊	埼玉県さいたま市浦和区常盤4-16-7
61	団体	在日本大韓国民団滋賀県地方本部	団長 朴 鍾 文	滋賀県大津市島の関9-5
62	団体	在日本大韓国民団岩手県地方本部	団長 申 百 澈	岩手県盛岡市本宮4丁目3-8
63	団体	在日本大韓国民団長崎県地方本部	団長 姜 成 春	長崎県長崎市樺島町6-15
64	団体	在日本大韓国民団宮城県地方本部	団長 金 政 郁	宮城県仙台市青葉区本町1-5-34
65	団体	在日本大韓国民団群馬県地方本部	団長 朴 旋 用	群馬県前橋市古市町497-5
66	団体	在日本大韓国民団高知県地方本部	団長 鄭 慶 文	高知県高知市北本町3-10-48
67	団体	在日本大韓国民団佐賀県地方本部	団長 朴 弘 正	佐賀県佐賀市神野東1-5-9
68	団体	在日本大韓国民団静岡県地方本部	団長 李 宜 弘	静岡県静岡市葵区弥勒2-5-22
69	団体	在日本大韓国民団岡山県地方本部	団長 宋 燦 錫	岡山県岡山市北区駅前町1-5-21
70	団体	在日本大韓国民団富山県地方本部	団長 金 仁	富山県富山市牛島新町4-3
71	団体	在日本大韓国民団広島県地方本部	団長 李 英 俊	広島県広島市東区東蟹屋町7-9
72	団体	在日本大韓国民団石川県地方本部	団長 金 沂 秀	石川県金沢市広岡2-6-26
73	団体	日韓親善協会中央会	会長 河村 建夫	東京都千代田区平河町2-7-1
74	団体	朝鮮通信使川御座船を考える会	代表 藤井 薫	大阪府豊中市千里園1-10-4
75	団体	千葉県日本韓国・朝鮮関係史研究会	会長 吉井 哲	千葉県千葉市美浜区真砂2-17-9
76	団体	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会	会長 広畑 周子	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2806
77	団体	在日本大韓国民団茨城県地方本部	団長 張 仙 鶴	茨城県水戸市青柳町344-2
78	団体	NPO法人 暮らしと耐震協議会	理事長 木谷 正道	神奈川県平塚市桃浜町11-33-207
79	団体	在日本大韓国民団 北海道地方本部	団長 李 圭 亮	札幌市中央区南9条西4丁目1-7 韓国文化会館4F
80	団体	山口県日韓親善協会連合会	会長 友田 有	山口県下関市岬之町8-16 コーエービル2F
81	団体	朝鮮通信使と共に福岡の会	共同代表 李 相 鎬, 嶋村 初吉	福岡市博多区博多駅前1丁目18番17号
82	団体	宗教法人慈照院		京都市上京区今出川烏丸上る相国寺門前町703
83	団体	宗教法人 清見寺	代表役員 一條 文昭	静岡県静岡市清水区興津清見寺町418-1
84	団体	東京国立博物館	総務課	東京都台東区上野公園13-9
85	団体	本蓮寺		岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓3194
86	団体	社団法人 釜山韓日親善協会	会長 朴 洪 圭	韓国釜山市東区草梁洞283-8
87	団体	みやこ町歴史民俗博物館		福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
88	団体	大村市テコンドー協会	会長 木下 建作	長崎県大村市原口町1178-8

### (個人)

No.	種別	会 員 名	氏 名
1	個人	個人会員	大 賀 正 行
2	個人	個人会員	原 田 令 嗣
3	個人	個人会員	萩 原 昭 一
4	個人	個人会員	村 上 和 弘
5	個人	個人会員	山 梨 渉

No.	種別	会 員 名	氏 名
6	個人	個人会員	盛 月 寿 美
7	個人	個人会員	高 田 好 浩
8	個人	個人会員	早 川 育 子
9	個人	個人会員	蓮 池 章 平
10	個人	個人会員	鈴 木 宏 久

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名
11	個人	個人会員	茶谷 十六
12	個人	個人会員	宮岸 美苗
13	個人	個人会員	浅野 慎太郎
14	個人	個人会員	市山 等
15	個人	個人会員	井上 敬二
16	個人	個人会員	井上 美登里
17	個人	個人会員	岩川 龍一
18	個人	個人会員	上西 法子
19	個人	個人会員	上村 順造
20	個人	個人会員	梅本 明則
21	個人	個人会員	岡部 良一
22	個人	個人会員	奥村 隆幸
23	個人	個人会員	小 椋 勉
24	個人	個人会員	小田 章恵
25	個人	個人会員	筧 真理子
26	個人	個人会員	片山 真理子
27	個人	個人会員	加堂 貞幸
28	個人	個人会員	北村 欽哉
29	個人	個人会員	北村 久代
30	個人	個人会員	小泉 和夫
31	個人	個人会員	上月 香澄
32	個人	個人会員	齋藤 健司
33	個人	個人会員	佐々木 悦也
34	個人	個人会員	佐々木 正行
35	個人	個人会員	佐 島 儀子
36	個人	個人会員	柴村 敬次郎
37	個人	個人会員	島 祐二郎
38	個人	個人会員	庄野 伸十郎
39	個人	個人会員	新本 直登
40	個人	個人会員	杉田 功
41	個人	個人会員	鈴木 真弓
42	個人	個人会員	多賀 俊介
43	個人	個人会員	高正 晴子
44	個人	個人会員	武内 禎子
45	個人	個人会員	田中 解子
46	個人	個人会員	玉 貴 信也
47	個人	個人会員	薦村 和雄
48	個人	個人会員	坪井 裕一郎
49	個人	個人会員	坪井 智美
50	個人	個人会員	戸田 和吉
51	個人	個人会員	長岡 武司
52	個人	個人会員	中尾 清
53	個人	個人会員	仲尾 宏
54	個人	個人会員	中澤 慶輝
55	個人	個人会員	永留 史彦
56	個人	個人会員	仁位 孝雄
57	個人	個人会員	西谷 隆行
58	個人	個人会員	信原 修
59	個人	個人会員	夫 学 柱
60	個人	個人会員	福田 浩一
61	個人	個人会員	福永 知佐子

No	種別	会 員 名	氏 名
62	個人	個人会員	藤本 弘子
63	個人	個人会員	裴 順 姫
64	個人	個人会員	堀 ちず子
65	個人	個人会員	町田 一仁
66	個人	個人会員	松岡 睦彦
67	個人	個人会員	丸尾 とし子
68	個人	個人会員	蓑田 俊輔
69	個人	個人会員	村田 景昭
70	個人	個人会員	村田 ミチ工
71	個人	個人会員	八木 静恵
72	個人	個人会員	安田 和幸
73	個人	個人会員	柳原 一興
74	個人	個人会員	山口 久範
75	個人	個人会員	山田 雄彦
76	個人	個人会員	尹 大 辰
77	個人	個人会員	尹 芝 恵
78	個人	個人会員	芳村 笙子
79	個人	個人会員	盧 桂 順
80	個人	個人会員	和田 佐喜男
81	個人	個人会員	千田 龍彦
82	個人	個人会員	吉田 智史
83	個人	個人会員	魏 聖 銓
84	個人	個人会員	小川 順子
85	個人	個人会員	森 英 一
86	個人	個人会員	山元 香
87	個人	個人会員	桜井 信寿
88	個人	個人会員	佐川 嘉奈子
89	個人	個人会員	水田 敏郎
90	個人	個人会員	李 眩 周
91	個人	個人会員	金 鐘 珉
92	個人	個人会員	石川 泰成
94	個人	個人会員	宮原 信哉
95	個人	個人会員	井本 克二
96	個人	個人会員	朴 曜 子
97	個人	個人会員	真弓 智恵子
98	個人	個人会員	子安 孝夫
99	個人	個人会員	竹内 真道
100	個人	個人会員	大澤 研一
101	個人	個人会員	野口 茂治
102	個人	個人会員	久和 温実
103	個人	個人会員	柏山 泰訓
104	個人	個人会員	藤村 泰夫
105	個人	個人会員	滝本 洋一
106	個人	個人会員	小川 裕司
107	個人	個人会員	今村 公亮
108	個人	個人会員	魯 ゼウオン



誠信交隣 2 1  
縁地連だより No.24

発行日 2021年(令和3年)4月30日

発行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会  
〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441番地

TEL 0920-53-6111

FAX 0920-52-1214

HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>

印刷 (株)厳原印刷所

誠信

NPO 法人朝鮮通信使縁地連絡協議会